

くろたき

平成18年度決算報告 … 10

- 議会だより … 2
- 村の話題 … 8
- 税務のお知らせ … 7



村の施設の電話番号

市外局番 (0747)

役 場 62 - 2031

IP電話 【050-5000-6200
~6203】

教育委員会 62 - 2314

IP電話 【050-5000-6128】

診 療 所 62 - 2747

IP電話 【050-5000-6129】

歯科診療所 62 - 2621

デイサービスセンター 62 - 2850

こもればホール 62 - 2280

(財)黒滝森物語村 62 - 2770

案内センター 62 - 2456

きららの森・赤岩 62 - 2577

黒滝駐在所 62 - 2034

指名手配被疑者の検挙にご協力を!

平成19年9月末現在、全国の警察から指名手配されている者は、警察庁指定特別手配被疑者として地下鉄サリン事件などで特別手配しているオウム真理教関係被疑者3人を始めとして、約1,900人に上っております。

これらの被疑者は、殺人、強盗等の凶悪事件、暴行、傷害等の粗暴事件、窃盗事件、詐欺、横領等の知能犯事件などに関して手配されており、再び犯行を繰り返すおそれがあるので、早期に検挙しなければなりません。

警察では、特に重大な犯罪の被疑者を選定して、11月中に全国警察の総力を挙げて追跡調査を行うこととし、これら被疑者の早期検挙に取り組んでいるところです。

この指名手配被疑者の発見に向けた各種捜査活動には、国民の皆さんの御協力が是非とも必要です。指名手配被疑者によく似た人を見かけたといった情報などどんなわずかなことでも結構ですので、警察に通報していただくようお願いします。

中吉野警察署 @ 0747 - 53 - 0110

善意銀行

(10月23日受理分まで)

皆様の善意に対して心から感謝申し上げます

- 久保 善裕 様(笠木) 長男海輝さん出産内祝として 5万円
- 浦南 辰浩 様(寺戸) 次女和花さん出産内祝として 3万円
- 柳本 進 様(槇尾) 亡父清さん満中陰志として 5万円
- 匿名 福祉に役立つように 1,057円
- 樋口 正雄 様(堂原) 亡父豊さん満中陰志として 5万円
- 辰巳 輝男 様(桂原) 次男星士さん結婚内祝として 5万円

人口・世帯数

(10月1日現在)

男	487人	(-5)
女	548人	(-1)
計	1,035人	(-6)
世帯	422世帯	(-3)



黒滝村民憲章

わたしたちは、黒滝村のよさを活かし、先人の努力に学び、知恵と心を結集し、明るく豊かで活力ある村づくりをめざしてこの憲章を制定します。

- ・豊かな自然をまもり、より住み良い生活環境づくりを努めよう。
- ・互いの人権を尊重し、やさしさとあたたかさのみちた村をつくりましょう。
- ・郷土の文化遺産を大切に、若いうちから大切にし、若いうちから大切にし、若いうちから大切にし、若いうちから大切に生きたらいい。
- ・勤労を尊び、産業の振興に努め、未来を拓く活力ある村をつくりましょう。
- ・長寿のよろこびをみんなで支え、健康で生きがいのもてる福祉の村をつくりましょう。

第4回議会定例会

9月6日から14日まで議会定例会が開かれ、18の議案が審議され、いずれの原案も承認・可決・認定されました。審議された内容は次のとおりです。

- 専決処分の承認について
平成19年度黒滝村一般会計補正予算(第3号)
- 平成19年度黒滝村一般会計補正予算(第4号)
- 平成19年度黒滝村一般会計補正予算(第5号)
- 補正予算について
平成19年度黒滝村一般会計補正予算(第6号)

- 平成19年度黒滝村国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)
- 平成19年度黒滝村介護保険特別会計補正予算(第1号)
- 条例の一部改正について
職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例
- 黒滝村職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例
- 黒滝村消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例

- 決算の認定について
平成18年度黒滝村一般会計歳入歳出決算の認定
- 平成18年度黒滝村国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定
- 平成18年度黒滝村老人保健特別会計歳入歳出決算の認定
- 平成18年度黒滝村介護保険特別会計歳入歳出決算の認定
- 平成18年度黒滝村簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定
- 平成18年度黒滝村下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定
- その他
黒滝村教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて
榎尾 山本忠男氏

黒滝村議会活動状況

9月		10月	
3日	常任委員長打合せ	27日	29日
6日	第4回議会定例会	2日	吉野郡町村議会
7日	交通対策協議会	4日	全員協議会
10日	経済建設常任委員会	10日	12日
11日	総務厚生常任委員会	11日	戦没者追悼式
14日	第4回議会定例会(再開)	12日	奈良県人権推進研究大会
15日	市町村のあり方を考えるシンポジウム	14日	五條市制50周年記念式典
18日	区長会	16日	全員協議会
21日	吉野し尿処理施設整備地域活性化委員会	17日	経済建設常任委員会
		18日	(財)黒滝・森物語村理事会
		19日	奈良県町村議会
		19日	議長会役員県外視察研修
		19日	全国へき地教育研究会奈良大会
		21日	地域安全運動中吉野地区大会
		24日	例月出納監査
		25日	26日
		25日	吉野郡人権同和推進協議会県外研修
		26日	地域活性化委員会
		31日	黒滝村人権同和推進協議会現地研修

一般質問



堀口議員質問

1点目は急傾斜工事についてです。村内は、かなり本事業は進んだものと見受けられるところであります。本事業については、かなりの条件が整わなければ急傾斜地指定区域を受けることが出来ません。本条件はあつたのか、また、あつたのであればその辺のことについて、該当の地域から「おかしい」という声をよく聞きます。条件について聞かせていただきました。一日でも早くと願っている村民もいる事は知っています。是非格差の無い村民が安心して日々が送れる村づくりを期待しますが如何ですか。

次に、洞川下市線改修について、商工会館付近の改修の話はどうなっていますか。又、道路改修はありますか。現在まで議会の方へは何の話も無いことについて村はどう思っていますか。商工会館建設

について、この件について知っているのは家治議員(現議長)と私と、そして村になるうかと思いますが、当時山林労働組合(昭和58年組合員281名別紙資料)との話、そして村と商工会との文章を取り交わした事を覚えております。取りかかったのは昭和58年の事です。毎年100万円を積立、昭和62年1、240万円の補正を組んで、1、740万円の建物を建設されたと覚えております。当時の先輩議員はかなりの議論の上で建設された事を思う時、道路改修があるのであれば移築等の話は是非議会にあるべきと思うが如何ですか。本件についての資料を提出願えないか伺います。

また、赤滝五條線について、各町村の県道を見た時、本村が一番改修が進んでいないと思われまふ。特に過日通行止めになった御吉野から寺戸の間、今までから我々議員で活動をとつたら村がやりまふと言つた状態、会議の中でも言いました。あつた時、何か事故等発生したらと思う時、早期改修を願つたところでありまふ。特に現状幅と前々から申す様に過疎に繋がる改修は考えるべきでありまふ。

ませんでした。当時の議論をおも
んみれば早々に議会に報告すべき
であったかもわかりませんが、こ
の点はご容赦くださいますようお
願いたします。先ほども申し上げ
ましたが、当時の資料として確
認できるのは使用貸借契約書のみ
でございます。

次に、赤滝五條線についてで
ございますが、村としては地元の意
見も聴き、議員各位の協力も得な
がら早期改修に向けて今後も県に
働き掛けていきたいと考えており
ますのでよろしく願いたします。

堀口議員質問

急傾斜工事について、条件があ
るだろうが、必要性があれば工事
すべきだと思ふ。条件を満たし
ていなくても危険箇所はあり、そ
れらに対する要望が沢山ある。そ
れを村長の手腕でどうにかならな
いものか。中には、一時的に住民
票を戻してきて、工事が終われば
また転出するといったことはない
だろうか。それより、一生黒滝で
生活している人の方が大事ではな
いか。要望が沢山あることを分か
って頂き、区長会とも協議して、
少数でも村費でしていくことは出

ています耐震診断業務には、補強
概要及び補強に必要な概算費用書
も併せて提出するよう発注してお
ります。その結果を踏まえて、い
ろいろな側面から検討し、また、
教育委員会と相談の上、進めてま
いりたいと思います。

スクールバスの目的外使用につ
きましては、制度上可能です。現
在、朝夕4回から5回の運行を行
っています。園児・児童・生徒
の安全な通学に万全を期すること
を第1に、また、支障をきたさぬ
よう目的外使用につきましては検
討すべきと考えます。

次に大型車から小型車にしては
というご意見につきましては、平
成20年度までは、現行のままとい
きたいと考えております。平成21
年度以降につきましては、バスを
買い換える場合は小型車にと考え
ますが、現行の運転手だけでなく
バスも併せて民間業者に委託した
ほうが安価で済むのか等、総合的
に勘案、検討した上で、ご提案し
たいと考えております。一般客を
スクールバスに同乗させることに
ついては、最近の治安等を踏まえ、
見ず知らずの人が乗る可能性もあ
るので検討していきます。

来ないだろうか。

2点目ですが、商工会から村の
方へ寄付金は無かったか。あと、
商工会の今後については、村長・
議会とよく協議して進めていき
たいのでよろしく願いたします。

辻村村長答弁

確かにおっしゃる通りで、商工
会より300万円の寄付金という
形で一部返還されています。それ
と、今年中に商工会の移築の話も
出ると思ひますので、そのときに
議会へ報告いたします。急傾斜に
ついて、何分村の財政事情もあり、
県の条件緩和に対しての要望に努
めていきたいと思ひます。



中森議員質問

「黒滝村の教育指針」について
お尋ねいたします。

まず、1点目でございますが、
小学校の複式学級の解消というこ
とで、平成18年度におきましては
本村の教育構想といひますか、計
画により、現状のままの7学級に
整備し村費で1名の教員を採用さ

中森議員質問
平成18年度の複式になる時は、
保護者の方の意見を伺いましたか。
保護者から複式解消の希望があり
ますか。保護者全員の意見を聞か
なくてもよいのですか。

辻村村長答弁

全保護者対象のアンケート等は
実施していませんが、学校行事や
役員会の機会などで、校長先生に
意見聴取をしていただいております。
全員といひましても、現在の
保護者だけではなくこれから入学
してくる児童の保護者も対象にな
ります。そうなれば、全員とどの
辺で区切るのかは大変難しくなり
ます。よって、現在は、先生方
(学校)からの意見を汲み上げると
いう形をとらせていただきました。

喜田教育長答弁

学校長から教育委員会・村長宛
に請願の文書をいただいております。
また、その都度保護者の方の意見
を校長より聞いてみると、複式学
級になるといひるのは不安が大き
いようです。学力を落とさない取
組みをしていきたい中で、先生方
も複式学級の経験がありません。
子供にとつても不安です。それら

れました。平成20年度におきま
しでは、複複式学級となり、村費で
2名の教員を確保しなければなら
ない状況となります。そこで、少
子化現象に歯止めがかからない状
況下での、今後の村の教育構想は、
特にお子さんを抱える家庭にすれ
ば気がでない状態かもしれませ
んの、村長の忌憚のないお考え
をお聞かせ願ひます。

2点目は、平成19年度におきま
しては各学校の校舎の耐震診断に
700万円前後の経費で調査され
ておりますが、この診断の結果、
耐震補強が必要となれば、それに
対応していかなければならなくな
り、耐震補強を行なえば相当の経
費が必要となることと予測されま
す。幼稚園・小学校・中学校それ
ぞれの耐震補強を行なつても、他
の部分の改修など改善できない問
題が出てくることも予測されます。
そこで、生徒数も減少しているこ
とから一つの校舎のみを補強・増
築し、集中した学校教育を行つた
方が望ましいと考えますが、各校
舎の耐震補強の経費等を含め今後
の方向性を示していただきたい。
3点目は、2台配置されており
ますスクールバスは、朝と夕方の
2回、児童・生徒を送り迎える

を踏まえて、複式解消に努めてい
きたいと思ひます。

中森議員質問

よく解りましたが、単独だけで
はなく、大きな学校との統合等広
い視野で考えていただいているのか。

喜田教育長答弁

その件に対しまして、他の町村
との組合立の学校を作るしか方法
はないと思ひます。複数の学校が
統合等で一つになるメリットを考
えての事になります。教育委員
会だけでの話ではなく、自治体の
長が決める話になるでしょう。準
備期間が大変長く掛かる上に、出
来るかどうか分らない内から、保
護者に話も出来ません。現状を考
え、また黒滝村の子ども達は、村
が責任を持って教育をしていくと
いう基本姿勢にそつて取り組んで
いるところでございます。

中森議員質問

それに向けての努力はしている
のか。

辻村村長答弁

教育長同士での協議はあるよう
に聞いていますが、町村長同士で

僅かの時間以外は使用されていな
い、つまり遊休化しているものであ
ります。このスクールバスをもつ
と効率的に活用できないものかと
いう疑義をもつております。先に
申しましたように生徒数の減少が
進んでおります。このことから大
型車から小型車にするとか、また、
走行する時間とは重複しない時間
帯に各種団体が利用するとか社会
教育の面などに多目的に利用する
ことや福祉バスの併用など、行財
政改革の視点からスクールバスの
効率的な活用についていかがお考
えですか。

辻村村長答弁

学校教育法第29条に、市町村は、
その区域内にある学齢児童を就学
させるに必要な小学校を設置しな
ければならない。」とあります。
今後これにのつとり小学校を存
続していきたいと思ひます。また、
平成20年度は、複式学級が二つに
なります。児童の学力低下を招か
ない為にも村費講師を2人採用さ
せ、7学級を維持したいと考えて
おります。しかし、社会情勢が変
化した場合は、さらに検討を加え
ていきたいと思ひます。
耐震補強について、現在発注し

の協議は今のところありません。

喜田教育長答弁

組合立の件について、一昨年度
文部科学省に問合せたところ、市
町村合併が前提でないと認めない
という回答であったと聞いていま
す。また、郡内の村と名の付く学
校は、全てといひつて良いほど同じ
悩みを抱えています。郡の教育長
会でも今後協議していくべき議題
として検討してあります。



平議員質問

本村の地域活性化対策について
質問いたします。

本村の現状は、少子高齢化の流
れの中において、長期にわたる林
業不況の影響もあり、全国の多く
の山間町村と同様、活力を失い重
い閉塞感が充満して、地域社会の
存続も近い将来危ぶまれるのでは
ないかと危惧される状況にあると
考えます。村長におかれましては、
以前のご答弁にありますように、
このような事態に対処するため町
村合併を最重要課題として捉え、
合併新法の終わる22年までには合

併の方向で努力するとの決意を表明されるとともに、本年度所信表明において「黒滝村活性化委員会」を設置し、産業全般にわたる村の活性化の提言と、国の「頑張る地方応援プログラム」に採用される施策とを検討するなど、積極的に対応する姿勢を述べられております。

そこで、次の2点についてご質問いたします。

まず1点目は「頑張る地方応援プログラム」について、この度村より提出し、国より採択内定があったと聞いておりますが、そのプログラムの概要と補助内容についてお聞かせ願いたい。

次に、「活性化委員会」の進捗状況、及び委員会提言に基づく施策を実施する際に、必要となる財源について、どのように措置される予定なのか。措置が来ないようであれば今年度も含め次年度以降「頑張る地方応援プログラム」事業とリンクさせる事は可能であるか。お聞きしたい。

辻村村長答弁

「頑張る地方応援プログラム」事業について、やる気がある地方が自由に独自の施策を展開するこ

とにより、「魅力ある地方」に生まれ変わるよう、独自のプロジェクトを考え、前向きに取り組む地方公共団体に対し、地方交付税等の支援措置を講じることを目的として予算化され、全国の各市町村に一律3千万円を3カ年にわたって措置されるものです。

本村は、「基幹産業である林業を中心に地域活性化を図る」ことを目的としたプロジェクトで応募し採択されました。具体的な事業は、FSC（森林管理協議会）研修会2、200千円 未整備林把握調査12、000千円 林業従事者用住宅建設42、000千円 有害鳥獣分布調査1、200千円 グリーンツーリズム検討委員会29、000千円 地域活性化委員会5、000千円の合計91、400千円です。これを3カ年で実施していく予定です。今年度分については、このたびの議会に提案申し上げていますが、過日の総務厚生常任委員会で各委員からいろいろのご意見を頂きましたので、より村の実情に即した事業となるように進めてまいりたいと思っております。また、2年目以降は、今年度の結果に基づき事業計画の変更も含め調整し、総務厚生常任委員会、

黒滝村地域活性化委員会に諮りながらより成果が上がるよう努めてまいります。

続きまして活性化委員会の進捗状況並びに委員会提言に基づく施策の財源についてですが、委員会をまだ2回しか開催してあらず、具体的な提案は今のところは頂いていない。しかし、二つの部会を設定して、協議していくこととなりました。一つは産業的なものを考え、もう一つは、活性化とは何かを本村の現状に照らし合わせて追求していく部会というふうに分かれた。ただ、現在はまだ模索の状態でありますが、提言された事業については村の事業として、国のあらゆる補助事業を検討して財源確保に努めてまいりたいと思っております。また、「頑張る地方応援プログラム」とリンクさせていきたいと思っております。

平議員質問

林業を軸に考えておられますが、森林組合の合併について村の事業に影響を及ぼす部分もあるかと思うので、村長の考えがあれば教えて頂きたい。

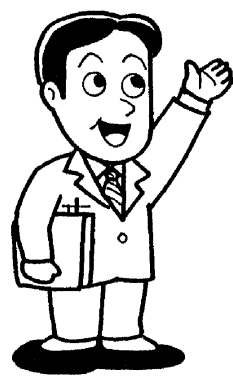
辻村村長答弁

県からの補助金に影響してくる部分がありますが、それについては知事に直接要望をしていきたい。私個人の意見ですが、森林組合も規模が大きくなった方が良いのではという思いはあります。

平議員質問

本村においての観光産業・観光資源については、今後どの様に進めていくのか。

辻村村長答弁
観光資源については、開発出来ればという思いはあります。県の補助を検討していきたい。観光施設については、建設から日が経ち、維持するだけで精一杯ですが、「頑張る地方応援プログラム」事業を充てられるようであれば、活用していきたい。



新築・増築 家屋調査にご協力を！

毎年1月1日現在で、固定資産税の評価を行っています。平成19年1月2日以降に完成した新築家屋や増改築された家屋を対象に、役場職員が調査にお伺いしています。

また調査を受けられない方は、お申し出くださいと共にご協力をお願いします。

また、本年1月2日以降で取り壊した家屋がある場合は、必ず申し出てください。申し出がない場合は、固定資産税がそのまま課税されることとなります。

役場住民課税務グループ

問合せ

地方税の公平・公正を確保し、地方税に対する納税者の信頼を守るため、次のとおり全市町村で一斉滞納整理強化月間を設定し、差押等をはじめとする滞納整理に集中的に取り組みこととしましたのでお知らせします。

黒滝村では、全市町村一斉滞納整理強化月間中に、差押を中心とした滞納整理を積極的にを行います。

なお、期間中は各市町村が、滞納者と取引のある金融機関

や勤務先等に対し、法律に基づく財産調査についても集中的に行うこととなります。みなさんのご理解とご協力をお願いします。

実施時期

平成19年12月

参加市町村

県内全市町村

各市町村の取組例

滞納者に対する差押

(預貯金・給料等)の集中実施

滞納者に対する電話催告・

文書催告・訪問催告の集中実施

住宅のバリアフリー改修に伴う

固定資産税の減額措置について

平成19年度の税制改正で、高齢者等が居住する住宅のバリアフリー改修工事が行われた住宅の固定資産税が減額されることになりました。

減額内容
改修工事が完了した年の翌年度分に限り、固定資産税額の3分の1を減額（100平方メートルまでを限度）

【概要】

対象住宅
平成19年1月1日現在、建築されている住宅で、
65歳以上の方
介護保険法の要介護もしくは要支援の認定を受けている方
障がい者の方
いずれかの方が居住する住宅（賃貸住宅を除く）
対象工事
平成19年4月1日から平成22年3月31日までの間に次の工事を行い、自己負担額が30万円以上（補助金を除いた額）のもの
浴室の改良 引き戸への取替え 手すりの取付け 便所の改良 階段の勾配の緩和 床の段差の解消 廊下の拡幅 床表面の滑り止め化

【手続き】

次の書類を改修工事が完了した日から3ヶ月以内に住民課へ提出してください。

高齢者等居住改修住宅に係る固定資産税減額申請書
工事明細書や写真など、工事内容を確認することができる書類
バリアフリー改修に要した費用を証する書類

【その他】

減額措置の適用については、1戸につき、1回までとなります。
新築住宅の軽減措置や、住宅耐震改修による固定資産税の減額措置などを受けている住宅は除かれます。

問合せ

役場住民課税務グループ

ササユリ組合「林野庁長官賞」受賞

農山漁村地域において、いきいきとしたシニア活動を展開している高齢者やそれを支援する団体を表彰するいきいきシニア活動表彰の表彰式が10月9日（火）、東京都霞ヶ関の農林水産省にて行われ、黒滝村および天川村で活動しているササユリ組合が林野庁長官賞を受賞しました。表彰式には組合長の吉村元成氏が出席し、林野庁長官より表彰状が授与されました。

この表彰は農林漁業・農産漁村の特性を生かしつつ、高齢者が生涯現役を目指す、安心して住み続けられることを基本理念とし、表彰を通じて各地域での高齢者対策の助長と地域での自発的な取り組みの推進に資するために行うものです。

ササユリ組合は平成15年に結成され、黒滝

村と天川村を中心にササユリを栽培し、道の駅吉野路黒滝で販売を行っています。林業を巡る厳しい現状の中で、林地を利用した新たな商品作物として、ササユリの栽培に着手し、栽培技術の向上と普及、販売を通して組合員の親睦を図る活動が評価され、今回の受賞となりました。

現在の組合員数は18名で、ササユリ以外にもキイチゴやウロウロトギスやイカリソウなどの栽培・販売も行っています。今回の受賞を励みとし、今後さらなる発展が期待されます。



ササユリ組合 組合長 吉村元成氏

第56回全国へき地教育研究大会奈良大会

10月19日（金）、黒滝小学校で「第56回全国へき地教育研究大会」の分科会が開催され、全国から約80名の教育関係者が参加されました。

黒滝小学校では、3年前からふるさとを知り、愛する心を育てる「コミュニケーションを重視したやまなみタイムを通して」をテーマに「生活科」「総合的な学習の時間」に、研究を進めてきました。当日は、地域の方々の協力を得て低学年、中学年、高学年の授業を公開しました。一部の授業ではゲストティーチャーにも参加していただきました。また、全校活動として全校スピーチも見ていただきました。

その後、辻村村長、尾上副議長等を来賓として迎え、研究発表・研究協議が行われました。

研究発表では、3年間の研究の概要と、本校と地域との関わりの中でどのような特色を出してきたかを発表しまし



た。

最後に、指導主事より研究の視点についての具体的なご指導の後、地域のよさを生かしながらたくましい児童の育成を目指して欲しいとのご助言をいただき、盛会のうちに研究協議を終えることができました。

本大会の開催にあたっては、小学校PTA、中学校の皆様はもちろんのこと、地域の方々の協力なくして成功はありませんでした。ご協力ありがとうございました。

ネオンボール・カレー作り・キャンプファイヤー



お米も自分たちで洗います！

10月14日（日）こもれびホール周辺において、青年団による「子どもと取り組む地域活動第2弾」ネオンボール作り&カレー作り&キャンプファイヤーが開催されました。

午後から集まった子どもたちは、班ごとに分かれて、ネオンボールを作りました。自分の好きな色や模様を透明のケースに描き、セロファンを張っていききました。その後は、夕食のカレー作りです。材料を買うため班ごとに青年団限定のお金を渡しました。お金を手にいれた子どもたちは、こもれびホール内の



ファイヤーマンとキャンプファイヤーをして楽しみました！

青年団ストアード、色々な材料を前に真剣な顔つきで考え悩み、出来る上がるカレーを思い描きながら買い物を楽しみました。

夕食後に行われたキャンプファイヤーでは、毎年恒例のキャラクター「ファイヤーマン」が点火の儀式に登場し、子どもたちと共にゲームを行いました。

昼から始まり夜までの長いイベントでしたが、帰り際の子どもの表情は、一日を楽しんでとても満足な様子でした。

ゴミのない村に！ 商工会青年部クリーン運動



たくさんのごみがありました！

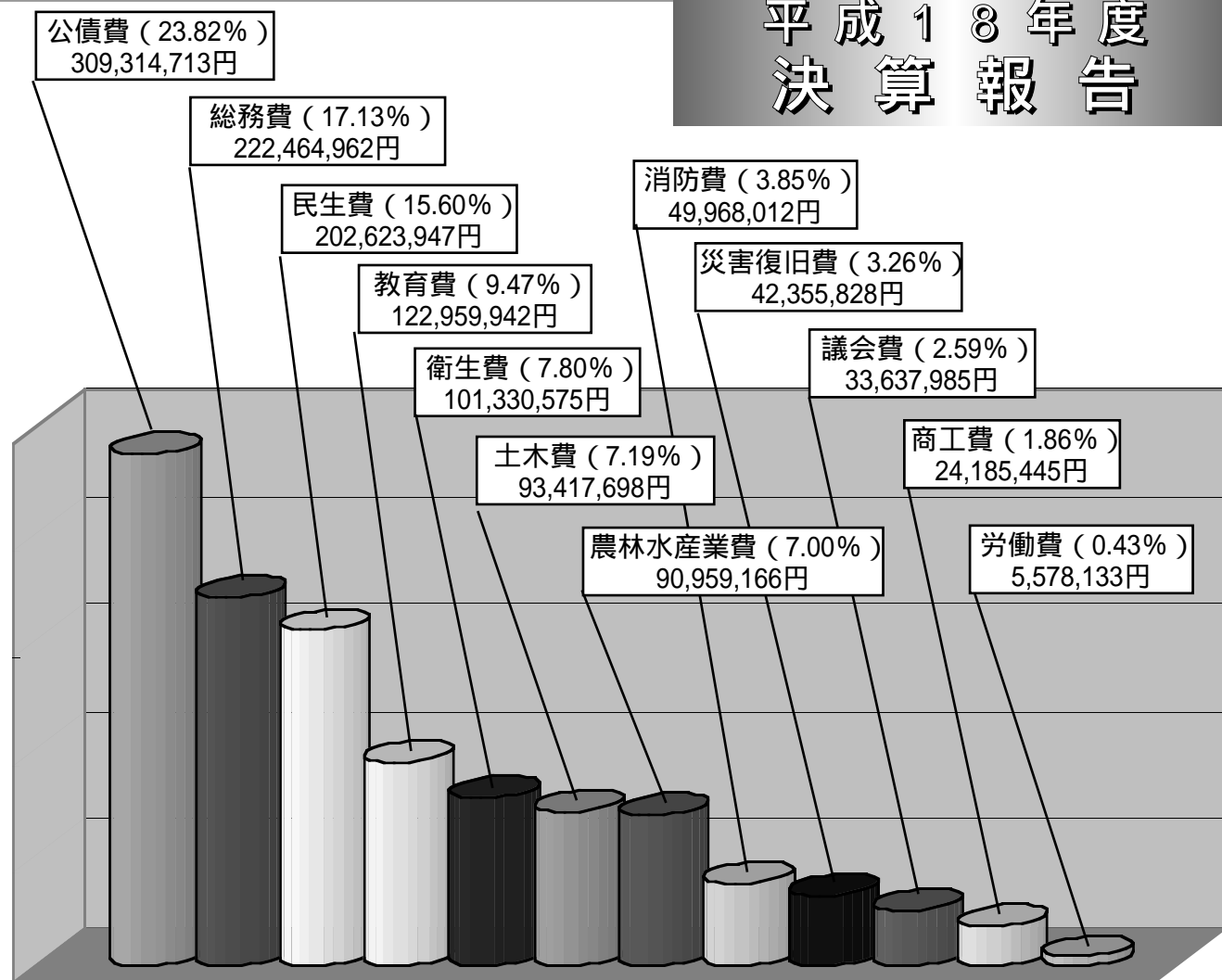
9月2日（日）、村商工会青年部（部長 上東正佳氏）10名が、「黒滝・森物語村」周辺の河川等で、クリーン運動を実施されました。

夏休みの観光客の落とし物（ゴミ）が黒滝村にもたくさんあったようです。

『自分が出したゴミは自分で持って帰る！』

マナーは守って欲しいですね。

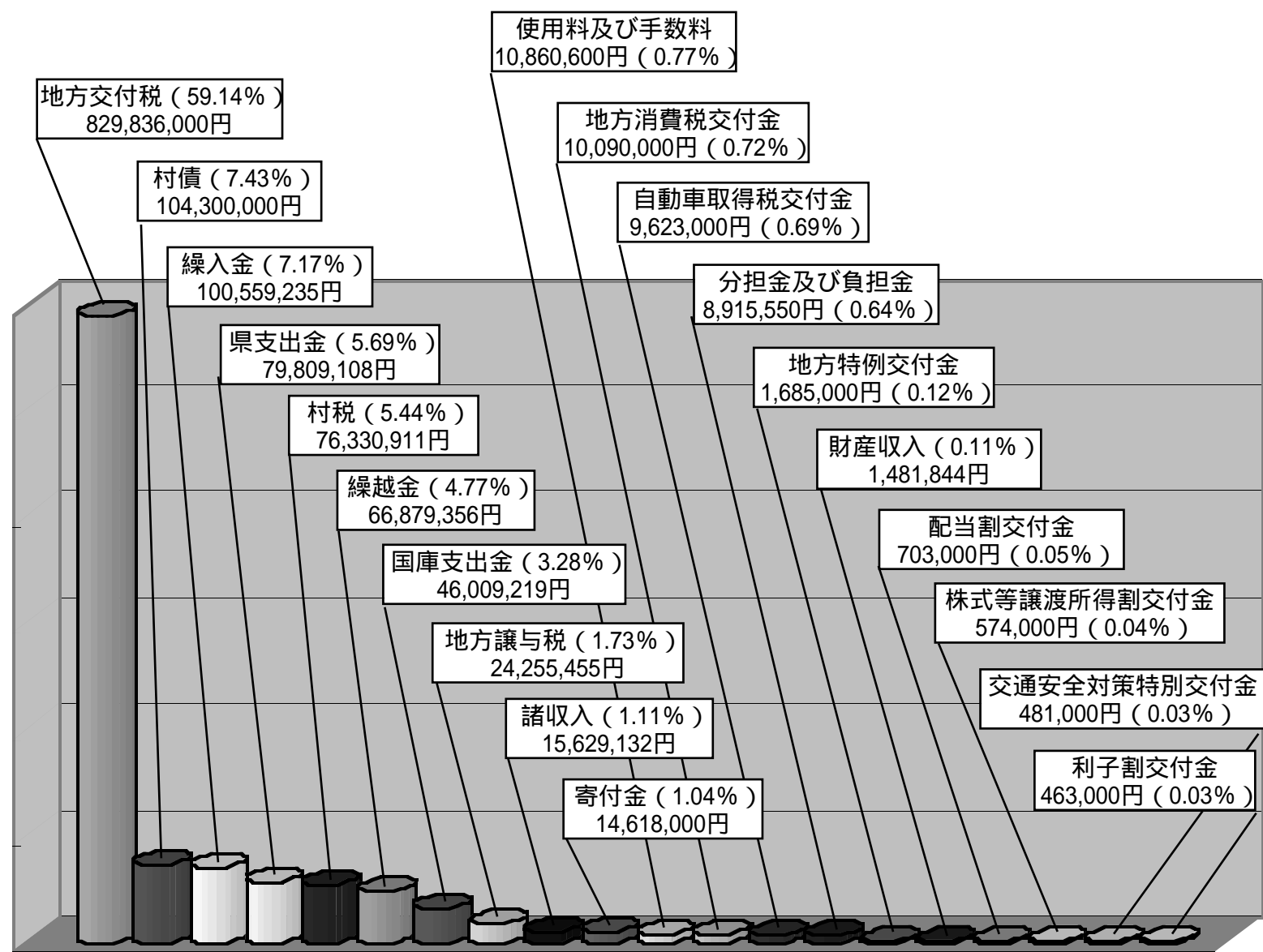
平成18年度 決算報告



一般会計・歳出1,298,796,406円

単位：円

会計名	歳入	歳出	差引
一般会計	1,403,103,410	1,298,796,406	104,307,004
特別会計	歳入 (一般会計からの繰入金)	歳出	差引
国民健康保険事業勘定	118,692,710 (11,060,508)	118,607,243	85,467
国民健康保険診療施設勘定	124,193,864 (4,348,000)	113,703,189	10,490,675
老人保健	200,237,926 (24,861,986)	200,183,433	54,493
簡易水道事業	37,055,968 (21,100,000)	37,027,452	28,516
下水道事業	45,428,692 (23,370,000)	45,368,935	59,757
介護保険	148,510,607 (23,254,354)	135,807,775	12,702,832



一般会計・歳入1,403,103,410円

平成18年度 決算報告

し0差0総歳14繰とり7昨入平か
す0し6額出億り創積万年へ成れ
る04引円は(村)入生み円度(村)ての
事円で、は)が10生み円より村)18
が円と、12億)が3万基金立余に年い
出1億987万3千円、た、た、の
来4千879万4千円、た、た、の
ま0万4千9百円、た、た、の
し7万6千円、た、た、の

も1うたみつ使れ議ら算
い0に大なたつ決ま会開が平
え4に切なさんたつ算第4かま
ます使切さんたつ算第4かま
す使切さんたつ算第4かま

基金・村債の状況

基金(貯金)		村債(借入金)	
山林造成基金	23,420千円	前年度末未償還元金	2,493,827千円
修学修業基金	7,890千円	平成18年度借入額	113,500千円
農業災害補償基金	1,312千円	平成18年度償還元金	302,909千円
財政調整基金	272,868千円	平成18年度末未償還元金	2,304,418千円
中央公民館基金	2,520千円		
智光基金	5,000千円		
国民健康保険 高額療養費付基金	1,000千円		
ふるさと創生基金	107,470千円		
林業後継者育成基金	16,810千円		
村営住宅基金	89,376千円		
減債基金	1,130千円		
地域振興基金	73,362千円		
土地開発基金	11,973千円		
中山間ふるさと水と土 保全基金	6,020千円		
国民健康保険財政調整基金	20,707千円		
介護保険財政調整基金	15,354千円		
林業振興基金	2,182千円		
診療所施設減損積立金	840千円		
合計	659,234千円		

平成19年秋季全国火災予防運動

11月9日～15日

統一標語

「火は見てる あなたが離れる その時を」

火災が発生しやすい時季を迎えますので、火気の取扱いには十分注意しましょう。近年の建物火災による死者のうち、住宅火災による死者が8割以上を占め、また、住宅火災における死者の内、高齢者層(65歳以上)が約半数を占めています。日頃から次の事項をこころがけ、火災のない村づくりをしましょう。

住宅防火 いのちを守る 7つのポイント

【3つの習慣】

寝たばこは、絶対やめる。
ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

【4つの対策】

逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、防災品を使用する。
火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置する。
お年寄りや体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。

工業統計調査

12月31日現在で調査を実施!

調査員がお伺いします。

調査票の正確なご記入をお願いいたします。

経済産業省 奈良県 黒滝村



女性の人権ホットライン

夫・パートナーからの暴力をはじめとして職場等におけるセクシュアルハラスメント、ストーカー行為などの女性の人権に関わる問題全般について、人権擁護委員の中の男女共同参画社会推進委員が次のとおり無料・秘密厳守で電話相談に応じます。

日時

11月12日(月) 11月18日(日)

(平日) 午前8時30分～午後7時

(土・日曜日)

午前10時～午後5時

全国一斉

「女性の人権ホットライン」

@0570 070 810

(全国共通ナビダイヤル)

対象 県内在住の女性

相談員

奈良県人権擁護委員連合会男女共同参画社会推進委員

問合せ

(人権擁護委員)

奈良地方法務局人権擁護課

(@0742 23 5457)

人権週間

【人権・行政相談】

人権・行政についての相談所を左記のとおり開設します。相談は無料で、秘密は守られます。

日時 12月7日(金)

午前9時～12時

場所 中央公民館

相談員

人権擁護委員

下浦順子(榎尾) 62 2014

西浦善明(御吉野) 62 2418

行政相談員

徳田 初(鳥住) 62 2555

問合せ 住民課・総務課

@0747 62 2031

【人権週間無料法律相談】

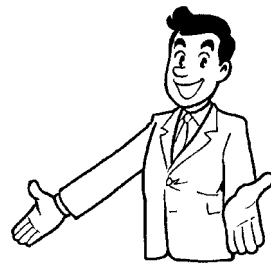
人権週間(12月4日～10日)にともない弁護士による無料法律相談が開設されます。秘密は堅く守られますのでお気軽にご相談ください。

日時 12月5日(水)

午後1時～午後4時

場所 下市町役場 1階第1相談室

@0747 52 0001



奈良県最低賃金改正

守ろう! 確かめよう!
この最低賃金!

県内で事業を営む使用者及びその事業所で働くすべての労働者(臨時、パートタイマー、アルバイト等を含む)に適用される奈良県最低賃金が、改正されました。

奈良県最低賃金

時間額 667円

効力発生日

平成19年10月25日

奈良労働局

管下労働基準監督署

検察審査会について

検察審査会とは、選挙権を有する国民の中からくじで選ばれた11人の検察審査員が、一般の国民を代表して、検察官が被疑者(犯罪の嫌疑を受けている者)を裁判にかけなかったこと(不起訴処分)のよしあしを審査するのを主な仕事とするところです。この検察審査員は、まず、選挙権を持つ人の中から毎年12月に黒滝村選挙管理委員会が行くじによって検察審査員候補者として選ばれます。その後、検察審査会事務局におけるくじによって、その候補者のうちからさらに約1割の人が選ばれることとなります。本人の希望のあるなしは問いません。

問合せ

役場総務課内選挙管理委員会事務局
又は 検察審査会事務局

@0747 23 0261



教育委員紹介

本村教育委員の任期満了に伴い
山本 忠男氏(楨尾)【再任】
が、先の村議会にて任命同意され、
その後の教育委員会で、委員長に
就任されました。

【教育委員】

(敬称略)
委員長 山本 忠男(楨尾)
委員 九鬼 良三(粟飯谷)
委員 辰巳 たつ子(粟飯谷)
委員 近藤 美智雄(寺戸)
問合せ 教育委員会

固定資産評価審

査委員紹介

本村固定資産評価審査委員2人
の任期満了に伴い
中谷 敏弘氏(寺戸)【再任】
平岩 一晃氏(粟飯谷)【新任】
が村議会にて選任同意されまし
た。

なお、平成4年9月より5期15
年にわたり村の公正な税務行政の
推進に尽力された、辻 良三氏
(脇川)は、今回の任期をもって
退任されることになり、永年のこ
功績には、心より感謝申し上げま
す。

委員のみなさまのご活躍を祈念
いたします。

【固定資産評価審査委員】

(敬称略)
委員長 平岩 一晃(粟飯谷)
委員 中谷 敏弘(寺戸)
委員 中井 龍彦(赤滝)

旧山古志村より

感謝のハガキ

平成16年10月に発生した中
越大地震により被災された旧
山古志村から、御礼の葉書が
届きましたので報告します。
当時、村民の皆様・各種団体
から頂いた4トトラックいっ
ぱいの毛布・タオル・衣類等
日常生活品を山古志村へ搬送
しました。文中には、「みな
さまのおかげで平成20年の正
月を山古志で迎えることが出
来るまでになりました。安ら
ぎを感じられるような地域づ
くりを目指し努力します。」
と、村民の皆様に対して深い
感謝の言葉が綴られています。

育児中の保護者向け講座

子どもが急病になったとき、お
困りになったことはありません
か？

今回、子育て中の方々に小児救急
の正しい知識を持っていただくた
めの講演会を開催致します。

講演

「子ども急病時！
こんな時どうするの？」

講師

黒滝村国民健康保険診療所
医師 明珍薫

日時 11月5日(月)

11時30分～12時

場所 黒滝村中央公民館2階

おもちゃ図書館

対象 育児中の保護者

担当 役場保健福祉課

事前申込みの必要はありません。
当日、直接お越し下さい。

交通事故のない村づくり ～秋の交通安全県民運動を実施しました～

高齢者の安全と飲酒運
転の根絶などを主なねら
いとして、9月21日から
30日まで、秋の交通安全
県民運動が実施され、本
村でも交通対策協議会、
交通安全協会及び交通安
全母の会が交通安全を呼
びかけました。



「飲酒運転根絶キャンペ
ーン」を平成20年3月ま
で行います。これを機会
に交通事故のない村づく
りの一層のご協力をお願
いします。

図書室だより

今月のおすすめ
中央公民館図書コーナーには約4,500冊の本があります。あ
なたの探していた本もあるかもしれませんので、どしどしご利用
ください。

貸し出し日 月～金曜日(祝日は休み)

貸し出し期間 2週間

ただし、それ以上になる場合は村教育委員会へ、連絡してください。

(文学)夜のピクニック/恩田 陸

高校生活を飾るイベント「歩行祭」。それは全校生徒が夜を
徹して80キロ歩き通すという、北高の伝統行事だった。甲田
貴子は密かな誓いを胸に抱いて、歩行祭にのぞんだ。3年間誰
にも言えなかった秘密を清算するために。学校生活の思い出や
卒業後の夢など語りつつ、親友たちと歩きながらも、貴子だけ
は、小さな賭けに胸を焦がしていた。本屋大賞を受賞した永
遠の青春小説。

(読み物)21世紀仏教への旅 インド編(上下)/五木寛之

(読み物)国会は無駄づかい/岡野加穂留

(児童書)ホームズ少年探偵団 ニューヨークの怪事件

/ロバート・ニューマン

てんいち先生



黒滝村人権・同和問題啓発推進本部

毎月11日は
『人権を確かめあう日』です
人権とは、人間が幸せに生きて
いく権利です。
すべての人間が生まれながらに
持っている基本的な権利です。